

9月例会

「語彙」をテーマに大森中学校の熊谷太志先生、教職員研修・採用課の清水智子主事、徳岡憲紀主事の提案がありました。はじめに、参加者全員で「語彙」とは何かについて考えました。参加者からは、「あるテーマや領域で集まる言葉」を指すものではないかという意見が出ました。次に、普段やっている語彙指導を出し合い、辞書引き、文法指導、文づくりなど指導の難しさや取り組みにくさの共有がなされました。ワークショップとして「ピカピカ」と「キラキラ」の違いについて考え、「遠近の差」、「自然、人工の差」など様々な意見が出されました。そして、シン読解力についての講演を聞いた主事からは理解語彙を使用語彙へ習得させることの難しさについて、講演の内容や外国語との比較から話をいただきました。

また、子ども中心の学びについても話題は広がり、基礎的な知識・技能を獲得する段階、学び方を学ぶ段階、問題解決的な学習をする段階、探究的な学びをする段階と学びには様々な階層があり、いずれの段階においても子ども中心の学びはあり、言葉の力は思考力、判断力、表現力の要となるため、年齢に応じた体系的な語彙指導をしていく必要があることが確認されました。

